

校園長室から



学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和 8 年 7 月 17 日 第 114 号

ふたつのおねがい～令和 8 年度 1 学期終業式～

いよいよ夏休みが始まります。

みなさんには、この夏休みふたつのおねがいがあります。

学生時代京都で一人暮らしをしていました。その住んでいた部屋には、クーラーがありませんでした。ある夏、あまりにも暑いので近所の電気屋さんを呼んでクーラーをつけてと頼んだことがあります。その電気屋さん曰く「クーラーつけれるけど、つけたらこの家の壁が倒れるんちゃうか」と言われ諦めました。それではどうしたか。大学の図書館が朝から開いていたのです。閉館する夜の九時まで冷気を求めてずっと図書館にいました。

ひとつ目のお願いです。どんな本でもいいので 3 冊は本を読んでほしいです。幼稚園の人は、本を読んでもらってください。

私が小学生だったころは、バリバリの昭和です。よく和歌山へつれて行ってもらいました。当時はまだ高速道路もありませんし国道 26 号も完全に通っていませんでした。今旧の 26 と呼んでいる道を通って国道 42 号線に乗り替わって、車でも和歌山の南まで行くには一日仕事でした。

日置川という和歌山の南部を流れる川があります。ダムができてからは、下流ではすっかり泳げなくなりましたが、昭和のころはきれいな川で、泳いでいると水中眼鏡越しに隣を泳いでいる鮎と眼があったりしました。

和歌山の最南端串本の海を訪れたときには、引き潮のなか、伊勢海老と目があいました。持っていた網ですくったのですが逃げられました。今でも悔しい思い出です。ふたつ目のお願いは、海や川・池に行くときは必ず大人の人と行ってください。子どもだけでいくことは絶対にないように。

ふたつお願いしました。